

研究教育業績(過去5年間)

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

1. 鈴木 萌子, 笠井 英史, 佐古 兼一 ほか。成人がん患者における好中球減少の影響を考慮したバンコマイシンの母集団薬物動態解析 TDM 研究 36 巻 3 号 Page96-104(2019)
2. 鈴木 萌子, 笠井 英史, 佐古 兼一。母集団薬物動態解析のための採血デザイン検討ツールの開発 TDM 研究 36 巻 3 号 Page81-95(2019)
3. Yukihiro Hamada, Hidefumi Kasai, Moeko Suzuki et al.
Pharmacokinetic/Pharmacodynamic Analysis and Dose Optimization of Cefmetazole and Flomoxef against Extended-Spectrum β -Lactamase-Producing Enterobacterales in Patients with Invasive Urinary Tract Infection Considering Renal Function Antibiotics (Basel). 2022 Mar 28;11(4):456-464

[国内学会]

1. 鈴木萌子、深谷 寛。多様な患者背景に適用したバンコマイシン母集団薬物動態解析統合モデルの構築 第 39 回 Pharmacometrics 研究会、横浜 (2023.11.17)
2. 鈴木 萌子, 笠井 英史, 佐古 兼一, 浜田 幸宏, 木村 利美 採血デザイン検討ツールの母集団薬物動態解析計画への実装 経口投与製剤を例に TDM 研究 36 巻 2 号 Page156(2019)
3. 鈴木 萌子, 笠井 英史, 佐古 兼一, 浜田 幸宏, 木村 利美 好中球減少によるクリアランス変動要因を考慮した成人がん患者におけるバンコマイシン母集団モデルの Leave-one-out 法による予測性評価 TDM 研究 36 巻 2 号 Page154(2019)
4. 榑 拓人, 笠井 英史, 町田 充, 鈴木 萌子, 佐古 兼一 TDM 解析におけるベイジアン法を利用した血中濃度予測に対する標準誤差の意義 TDM 研究 37 巻 2-3 号 Page59-68(2020)
5. 榑 拓人, 笠井 英史, 伊賀 正典, 高野 温志, 町田 充, 鈴木 萌子, 佐古 兼一 TDM 解析ソフトで算出されるベイズ推定による血中濃度予測に対する標準誤差の重要性 TDM 研究 36 巻 2 号 Page151(2019)

2. その他特筆すべき研究業績

1.

II. 教育業績